



五 姓 姓 姓

明 國 國 國 國 國

明 國 國 國 國 國

明 國 國 國 國 國

明 國 國 國 國 國



冊 彦 歌
號 美 歌
証 天

門 木 2
號 5616
卷

正 校 保

本居大人著

玉 歌 集 序 全

壽美能家藏板

玉歌集序
世のうけつて来ぬるものに、人乃とて、
云々
此物語つたそのごころも、異件なりと
し、
一松一菊も、
一、

りよへしとてあはれなるやうにまことの葉をよ
 ちうかきかきしをたぬたうまはまのさしよ
 出る秋も。こころ出る文も。昔年をぬこ
 がもかきまうりやも。世もくこの葉の道
 うはくしをよちやうかきしをたぬたう
 まのまはれしをたぬたうのまのやうな
 秋のまはれしをたぬたうのまのやうな
 りよへしとてあはれなるやうにま
 君とてあはれなるやうにま

名に相ひあはれなるやうにま
 のまはれしをたぬたうのまの
 まのまはれしをたぬたうのまの
 うまのまはれしをたぬたうのまの
 たのまはれしをたぬたうのまの
 秋のまはれしをたぬたうのまの
 て秋のまはれしをたぬたうのまの
 秋のまはれしをたぬたうのまの
 秋のまはれしをたぬたうのまの

歌の部目録

み 〇〇〇〇

ふ 〇〇〇〇

らの歌みよふやうきおこし

きんぎょの橋

きんぎょねね

りぞりぞ 九のつら

いしのつら

きんぎょ

きんぎょ

かきかき

ふ 〇〇

や 〇〇

のりあねね

かきかき

きんぎょ

きんぎょ

つらつら

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

まねくろく 日

そとくろく 日

二つの海 日

そとくろく 日

産の面 日

いんげん 日

ほろくろく 日

さいよう 日

あまのこ 日

くろくろく 日

神ぶらひ 日

まねくろく 日

天が下 日

おひ風 日

あせ 日

あまのこ 日

くろく 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

文の部目録

まねくろく 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

あまのこ 日

此
月形を鏡に
てやうと
人の心と
しるべし

かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし

かたがた人の心と
しるべし

かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし

かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし

かたがた人の心と
しるべし

かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし
かたがた人の心と
しるべし

此
月形を鏡に
てやうと
人の心と
しるべし

春の夜は長過ぎてあつたねえぞ
うしろの山をへたあつたねえぞ

□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□

□□

□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□

左
授かるもたへくすくす住む
乃岸乃唯和家世のゆるい
世にまふ下の下陸の在居
りきりきりりりりりりり
細かくてもたへくすくす
まいたるまいたるまいたる

□□□
□□□
□□□
□□□

□□

□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□
□□□

Handwritten text in Arabic script, consisting of several lines of prose.

Section header or separator in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, continuing the narrative or discourse.

花印... 又... 月... 花印... 又... 月... (Vertical marginal notes in Japanese)

Handwritten text in Arabic script, top section of the page.

Section header or separator in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, middle section of the page.

Section header or separator in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, bottom section of the page.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is arranged in several lines, with some words underlined. The script is dense and characteristic of classical Arabic manuscripts.

Handwritten notes in the left margin of the top page, written in a smaller, more cursive hand. The text is partially obscured and difficult to read.

Handwritten text in Arabic script, continuing from the previous page. The text is arranged in several lines, with some words underlined. The script is dense and characteristic of classical Arabic manuscripts.

Handwritten notes in the left margin of the bottom page, written in a smaller, more cursive hand. The text is partially obscured and difficult to read.

オランダ人の船が、本州の津波を避けて、
南緯の島々へ逃げた。その島々は、
今もオランダ人の領土である。

○海

オランダ人の船が、本州の津波を避けて、
南緯の島々へ逃げた。その島々は、
今もオランダ人の領土である。

○海

オランダ人の船が、本州の津波を避けて、
南緯の島々へ逃げた。その島々は、
今もオランダ人の領土である。

オランダ人の船が、本州の津波を避けて、
南緯の島々へ逃げた。その島々は、
今もオランダ人の領土である。

○海

オランダ人の船が、本州の津波を避けて、
南緯の島々へ逃げた。その島々は、
今もオランダ人の領土である。

○海

オランダ人の船が、本州の津波を避けて、
南緯の島々へ逃げた。その島々は、
今もオランダ人の領土である。

このころは
みどりトキフナ近世奇ヨミハ
ノリヤサミヤクチ奇ヨミハ
アサヒ世田の下の下カキレ
西田記ニ至仁海殿西下洋舞
以而不五海中トアル見

海防

海防の要は海軍の整備に在り。海軍の整備は海軍の整備に在り。

海軍

海軍の整備は海軍の整備に在り。海軍の整備は海軍の整備に在り。

海軍

海軍の整備は海軍の整備に在り。海軍の整備は海軍の整備に在り。

海軍

海軍の整備は海軍の整備に在り。海軍の整備は海軍の整備に在り。

海軍の整備は海軍の整備に在り。海軍の整備は海軍の整備に在り。

海軍

海軍の整備は海軍の整備に在り。海軍の整備は海軍の整備に在り。

海軍

海軍の整備は海軍の整備に在り。海軍の整備は海軍の整備に在り。

今から... 山... 花...

Handwritten text in the upper section of the right page, enclosed in a rectangular border. The text is written in a cursive style and includes several lines of vertical writing.

今から... 山... 花... (mirrored bleed-through from the reverse side)

Handwritten text in the lower section of the right page, continuing from the upper section. It includes several lines of vertical writing, some with horizontal bars.

今から... 山... 花... (mirrored bleed-through from the reverse side)

... 神祇の事 ... 神祇の事 ...
... 神祇の事 ... 神祇の事 ...
... 神祇の事 ... 神祇の事 ...

... 神祇の事 ... 神祇の事 ...
... 神祇の事 ... 神祇の事 ...
... 神祇の事 ... 神祇の事 ...

... 神祇の事 ... 神祇の事 ...
... 神祇の事 ... 神祇の事 ...
... 神祇の事 ... 神祇の事 ...

此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...

此の由に

此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...

此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...
 此の由に... 此の由に... 此の由に...

壽美能會藏

天保十四卯年六月開版

藝州廣島

井筒屋忠八郎

書林

大阪高瀬橋三丁目

秋田屋彦助

三都

江戸日本橋通壹丁目

須原屋茂兵衛

同日本橋通貳丁目

山城屋佐兵衛

同

須原屋新兵衛

同芝神明前

和泉屋吉兵衛

同

岡田屋嘉七

同兩國横山町

和泉屋金右衛門

同淺草茅町貳丁目

須原屋伊八

京都寺町通松原

勝村次右衛門

同三條通寺町

丸屋善兵衛

大塚齋橋通安堂寺町

秋田屋太右衛門

書肆

發行

